

平成22年3月卒業生 大学等合格者数

Table with columns for University Name (大学名), Number of Graduates (合格者), and University Name (大学名). It lists various universities and their respective graduate counts.

平成二十二年 全国高等学校総合体育大会 登山・集団縦走の部 第三位



高校総体 全国大会表彰式にて (メダル・賞状授与)

山岳部

塚本 宇信 (二年)

山岳部は鹿児島・宮崎で行われた高校総体登山競技に出場し、男子種目縦走で三位となることができました。この輝かしい結果を得ることができたのは、ひとえに周りの人の協力や応援があったからだと思います。朝練で毎朝早くてもかさず弁当を作ってくれた母、休日を顧みず下見や練習に来てくれる顧問の先生方、すれ違いざまに声をかけてくれる人。言い尽くせないほどの人々がいます。その一人一人が、登山中キツイときの支えとなりました。この大会で僕がわかったことは、努力すれば結果が出るのか、あきらめないことの大切さか、そんな大層なことではありません。平凡ですが、周りの人のありがたさに気づきました。本当にいろんな人のお世話になりました。そのお返しとして全国三位という結果を持ち返ることができ、とてもうれしく思っています。この場をかりて、応援してくれた人たちみなさんに感謝の気持ちを伝えたいです。



部 活 動 の 近 況 報 告

新聞部

大坂 桃子 (二年)

新聞部は高校新聞年間紙面審査で入賞し、全国高等学校総合文化祭宮崎大会に八名参加しました。大会では、全国各地から集まった新聞部員と一緒に宮崎の商店街や研究施設などを取材し、班ごとに手書きの交流新聞を作成しました。初対面の班員と最初は打ち解け合えず話し合いがうまく進みませんでした。最終的に全員と協力して新聞を完成させることができました。言葉にならなかつた生活環境の違いを話したり、普段ではできない体験ができておもしろかったです。

また「そうぶんニュース」という総文祭を紹介する壁新聞を作るため、パレードや写真など様々な部門を取材しました。取材活動、宿での記事制作と充実した活動ができました。パレードの記事は、八月十五日付静岡新聞に掲載されました。

修学旅行はいま



西湖の船上

本校では、一昨年(平成二十一年度)から、海外修学旅行を実施しています。二十二年度は、中国の上海・杭州を中心とする地域に出かけました。食事、物売りなどとても多かったです。現地においたからこそ得られたものもまた多くあったようです。生徒の感想からいくつか紹介します。

「河坊街では中国の学生さんに値切りしてもらったり(注:班に一人の中国人学生がつき、交流をしました)、おすすめの商品を教えてもらったりして、すごくお世話になった。ホテル近くのお茶屋では、物価が安かったので、日本では買えないような一級品も買うことができました。」

「私はまだまだ知らなければならぬことや、目をそむけてはいけない、やらなければならぬことがたくさんあると気づき、自分が日本という豊かな国に生まれたことや家族を支えてもらって学習できる環境がここにあることを幸せだと思

この貴重な経験や全国に友達ができたことを普段の活動に活かしていきたいと思



全国総文祭 会場にて 参加の本校生徒

「鳥鎮は本当に一瞬でタイムスリップしたような町並みでした。一番、中国の素の生活が見れたと思う場所でした。小さな船にも乗り、漕いでくれたおじさんのノリがものすごくよくて、楽しい船旅になりました。」

「良いこと悪いこと、それらのどちらかを知っただけで全てを理解したと勘違いして物事を判断してしまうのは、とても怖いことだと思いました。」

今年度(二十二年度)は、十二月七日から四日間、台湾を訪問します。今年の二年生がどんな経験をして帰ってくるか、楽しみです。

支部報告

関東支部 村野 坦 (三十一回)

七月十一日、神田・学生会館で開いた総会に三〇人が参加、本部の横田会長、河村・三輪副会長、河西校長を迎えた。

サッカーW杯出場の長谷部誠選手が寄せたメッセージ披露、静岡で音楽活動を続けるチエロの滝口洋(三十八回)、ピアノの村上夢子(七十回)お二人の演奏から始まった。スクリン映像「東高の今」を背に「同窓生紹介」は今春卒業の慶原大生渡辺光里さん(八十三回)、野球部女子部員)と志太中開校の年生まれの最年長・成岡利美さん(十四回)が壇上へ。ディズニールゾートに出演中のダンサー松浦希実さん(七十七回)。

中京支部 横山恵一郎 (二十九回)

中京支部は、愛知・岐阜・三重三県で構成しており、愛称「藤愛会(とうあいかい)」。

これまで、大井川町焼津市とも、各々行政の流れに沿って行動していた私達の藤枝東高支部同窓会も、両支部有志の方々が集まり四月末に着々と準備し新しい焼津支部規約も作成し、去る七月二十四日、本部同窓会総会日に併せて大井川支部、焼津支部を合併し新生焼津支部としての発足総会を、焼津松風閣で開催、皆様の賛同を得て新たなスタートを切りました。これまでリードして下さった焼津支部大石支部長、大井川支部伊藤支部長がそれぞれ顧問として御勇退され、私、永田が新支部長を仰せつかりました。これから藤枝東高の将来のため何ができるかを考えながら支部の運営に努力したいと思っております。

焼津支部 永田 實治 (二十八回)

藤枝支部 小山明良 (三十六回)

昨年漸く第一回役員総会を開催、是非来年もとの声に、今年二月二十七日に第二回の役員総会を開催しました。本年度は役員改選が行われ、支部長に小山明良(三十八回)、新たに副支部長に仲山寛治(四十三回)、事務局に渡辺博文(五十八回)が承認されました。今年には来賓として大石同窓会副会長、学校長の出席をいただき、総勢六十名の参加者のもと開催されました。北村(三十八回)藤枝市長には市政報告として挨拶をいただきました。一歩一歩元氣ある藤枝市実現に向けて頑張っている様子がかげえ、大変頼もしく感じました。今後、三年ごとに開催される本部の総会に合わせて、藤枝支部の総会を開催することを確認し、盛会裡のうちに終了しました。

島田支部 伊藤 孝 (三十三回)

藤枝東高同窓会島田支部は平成十九年四月に発足し、本年で三年目を迎えた。本部の熱意と他支部の情熱に押され息を続けている。事務局によると、全員で千数百名いるということであるが、宛先不明も多く、実態はその半数程度か?支部総会ならびに臨時総会を各一回開いているが、規約の制度から各個人への連絡に至るまで、支部の事務局の方々に大変ご苦労をおかけしている。懇親会には八十才代から二十才代にいたる多くの方々の参加をいただいているが、やはり昔を懐かしむ年代の方が主流である。飲むほどに、酔うほどに母校に対する思いは募るという次第。少子化が進むにつれ高校生の数も減ってくる。スポーツでも、学業成績でも良いから特長のある校風の確立を願ってやまない。

浜松支部 大塚 義郎 (三十四回)

藤遠会(浜松支部)は「志太中・藤枝東高遠江地区同窓会(平野衛・二十七回創立)のもと三十八年継続、現在、山城陸(三十七回)会長を中心に毎年十月を総会開催月として活動が続いています。今年第三十七回目を迎えます。登録会員は九十名余で、例年、十八回生から六十回生まで幅広い年代の二十数名が集い交友を広げています。十月一日(金)ホテルクラウンパレス浜松で開催します。会報発行時には間に合いませんが毎年同じ会場で開催しますのでご連絡ください。

故人となられた鈴木實治郎先輩(旧姓中西・二回生・元スズキ自動車会長)から寄贈していただいた母校の校旗と横断幕を毎年の定例総会には会場に掲揚します。これは出席される皆様の至誠一貫の風情を盛りあげます。

同窓会事務局からのお願い

事務局では会員の皆様の連絡先をデータベース化し、きちんと会報がお手元に届くように努力しております。連絡先に変更のある場合は、下記まで御一報ください。なお、公表その他目的外の使用は致しません。同窓会・同期会等の集まりを開催の場合は、是非同窓会ホームページを御利用ください。

(同窓会事務局)

〒426-8577 藤枝市天王町1-7-1 静岡県立藤枝東高等学校同窓会事務局 TEL 054-645-3527 FAX 054-645-3529 メールアドレス: fh-dousoukai@cy.tnc.ne.jp ホームページ: http://www.fujiedahigashi.jp/ (毎週月・水・金 午前中 事務員〔青島〕が在席しております。)

